

令和2年度重点事業について  
令和2年度当初予算の概要

資料 1

【総 額】	①16,366,144千円(障害者福祉推進課) ②35,867,750千円(障害福祉事業課) 合計52,233,894千円(前年度当初比1,225,649千円 2.4%増) うち社会保障費	政策経費の推移 (人件費、社会保障費 (義務的経費)を除いた額)	・平成29年度 2,170,964千円(2課合計) ・平成30年度 1,905,978千円(2課合計) ・令和元年度 1,943,523千円(2課合計) ・令和2年度 2,326,176千円(2課合計)
	①15,246,816千円(障害者福祉推進課) ②34,443,667千円(障害福祉事業課) 合計49,690,483千円(前年度当初比812,678千円 1.7%増)		912,735千円(障害者福祉推進課) 1,413,441千円(障害福祉事業課)

主要施策	取組みの方向性	数値目標	事業名等	事業概要	平成30年度決算額(千円)	令和元年度当初予算額(千円)	令和2年度当初予算額(千円)
2精神障害のある人の地域生活の推進	2－(1)－①、⑬	2－1圏域毎の保健、医療、福祉関係者による協議の場の設置状況	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	精神障害のある人が、地域の一員として自分らしい暮らしを送るために、医療・福祉・介護・住まい・地域の助け合い・教育が包括的に確保された地域づくりを目指すことを目的とした事業。障害保健福祉圏域15圏域毎に事業委託を行い、会議体の設置・運営や、地域課題に応じた事業を選択的に実施する。	15,424	22,808	22,808
2精神障害のある人の地域生活の推進	2－(2)－①、②	2－11 精神科救急基幹病院数、 2－12 精神科救急身体合併症に対応できる施設数	精神科救急医療の充実	精神疾患の急激な発症や精神症状の急変などにより、早急に適切な医療を必要とする精神科救急患者や措置入院患者が速やかに医療に繋がることができるよう、精神科救急医療システムや夜間休日における医療の提供体制を確保する。	160,041	192,983	192,785
2精神障害のある人の地域生活の推進	2－(1)－②、③		精神障害者ピアサポートの推進について	精神障害者ピアサポーターの養成を行うとともに、ピアサポート体制の在り方について検討を進める。	525	525	525
2精神障害のある人の地域生活の推進	2－(2)		措置入院費	精神保健福祉法第29条及び第29条の2に規定する精神障害者の措置入院に要する費用を負担するもの(扶助費)。なお、保険が優先適用され、残余の費用について公費で負担することとなっている。	259,951	270,000	295,000